



卒業後に向けて

左の写真は、高等部の校内実習の写真です。業者さんから菓子箱の箱折作業をいただいて、一つ一つ丁寧に箱折をしているところです。高等部では年に2回、職場実習を行っています。卒業後どのような場所で過ごすか、働くか、生徒の実態に応じて実習先を考え、実態に応じて実習期間を決めて実施しています。本校には進路担当の職員がおり、生徒や保護者、担任の相談にのったり、実習先との連絡調整をしたりしています。ちなみに、この秋の実習先は企業や福祉事業所等100か所を超えています。生徒に合った活動（仕事）で継続可能か、継続して通えるところか（自力か、保護者送迎か、事業所送迎か）、周りの職員や利用者さんの雰囲気は生徒に合っているか…生徒を真ん中にして、保護者や担任、進路担当職員と一緒に考えています。特に高等部3年生は今、卒業後の生活に向けて、企業の面接を受けたり、もう一度特別実習をさせていただいたり大切な時期にきています。保護者の皆さんも、PTA主催の施設見学等を利用していただき、いろいろな事業所を見ていただきたいと思います。事業所によって、活動内容も規模も雰囲気も本当に異なります。お子さんの学校卒業後の生活が豊かに過ごせるよう、お子さんに合った進路先を一緒に考えていきましょう。

来年度から「稲荷山支援学校」へ

4月の校長室だよりでお伝えしましたように、令和8年4月から校名が変更になります。校名変更に向けて、昇降口の銘板（学校名の看板）やスクールバスの表示変更等の準備を進めています。校章や校歌についてですが、本校の校章（下図）や校歌の中に「稲養（いなよう）」は出てこないで、校章や校歌の変更はありません（学校によっては校章や校歌の変更を考えている学校もあるようです）。本校では唯一、文化祭の名前が「稲養祭（いなようさい）」なので、文化祭名をどうするか校内で検討しました。子どもたちにも卒業生にも馴染み深い「稲養祭（いなようさい）」はそのまま残そうと考えています。地域の方々にも「稲養（いなよう）さん」と親しまれていること、本校が「稲荷山養護学校」という名前だった名残、そして愛称の意味も込めて、「稲養祭（いなようさい）」という名称は残したいと考えますが、いかがでしょうか。ご意見があればお寄せください。

佐藤雅志さん（本校に在籍していた生徒の弟さん）が考えた校章です。



真ん中の三角は山を、左右は翼を表し大空高く社会に飛躍を願い、周りの○は心豊かに皆で「和」をもって仲よく助け合い学ぶ姿を表しているそうです。

二学期もありがとうございました

今年の夏も暑い日々が続き、秋はあっという間の二学期でしたが、おかげさまで実り多き二学期が終わろうとしています。毎日の学習や様々な行事を経て、子どもたちも成長できた二学期でした。学校でも子どもたちの成長を本人にお伝えしますが、ご家庭でもぜひ子どもたちががんばったこと等を褒めていただきたいと思います。



引き続き、子どもたちが安心・安全に毎日を過ごし、日々の生活が豊かになるよう三学期も職員一同取り組んでまいります。良いお年をお迎えください。